

神奈川研究会平成 27 年度活動報告および平成 28 年度活動計画

神奈川研究会(KSクラブ)は、地域研究会として「参加しやすい」「活動しやすい」研究会を目指し、エネルギー・環境・資源・安全・教育など、近い将来の社会問題について、多面的に考え(K)、調べ(S)、討議し、得られた知見や提案を外部に発信することを方針に活動を展開している。

1. 平成 27 年度活動報告

1) 会員状況 会員 10 名

2) 開催状況 12 回開催(内見学会 3 回)

3) 出席状況 会員出席率 68/96 70% オブザーバー 1 名

4) 研究分野 エネルギー関係 5、原子力関係 2、環境関係 1、経営関係 1

5) 研究課題

エネルギー関連では、メガソーラーの定点観測・人工光合成・全再生可能エネルギー都市計画・電力としての再生可能エネルギーの課題、原子力関連では、福島原発の汚染水対策・化学工業プロジェクト報告、環境関連では、宍道湖水質浄化等

6) 研究成果

会員が持ち回りで、研究テーマを発掘し発表。会員間で、幅広く意見交換を行った。

研究課題の傾向は前年度と同様で、原子力を含めるとエネルギー関係が 75%を越えた。

研究レポートについては、公表が相応しいものは、「SCE・Net の窓」のレポートとして成果を掲載し、SCE・Net 会員への情報提供を行った。

2. 対外発表

1) 化学装置 バイナリー発電の適用性(松村)(28 年 10 月号)

2) SCE・Net 技術懇談会(28 年 1 月) 神奈川研究会紹介および技術発表「請負業のリソースマネーメント」

3) SCE・Net ホームページ 「窓」レポート掲載 2 件 エッセイ掲載 4 件

会員のページ アーカイブス 神奈川研究会の内容の定期更新

2. 平成 28 年度活動計画

1) 研究の継続的発展

2) 研究会からの外部発信と活性化

毎月第 4 木曜日を研究会活動の日として、横断的テーマ、特にエネルギー・環境・原子力を中心に研究を継続する。研究関連の施設見学等も適時取り入れる。